

和歌山県立医科大学薬学部 シラバス

科目名	病院・薬局実習
科目名（英文）	Practical Training for Pharmaceutics
学部・学科	薬学部・薬学科
配当年次・学期	5年次・通年
クラス	全クラス
履修区分	必修
授業担当者	須野 学、伊藤 雄大
科目ナンバリング	P7001JD
関連科目	事前学習Ⅰ、事前学習Ⅱ、病院・薬局薬学

本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー

薬学教育モデル・コアカリキュラムに準じた薬局、病院における実務実習を行い、薬剤師の活動の基礎となる調剤技術、患者応対におけるコミュニケーションスキルならびに態度を習得する。医療機関に勤務する薬剤師の役割への理解、患者の薬物療法に携わる薬剤師の社会的役割と責任への理解を深める。他医療職種の立場と考えを尊重し、連携の重要性を理解する。医療機関に勤務する薬剤師の活動・使命は、患者（入院）のみならず生活者（退院時、それ以降）に及んでいることを踏まえ、医薬品を扱う将来の薬剤師として薬の物質としての理解のみならず、患者の生命・生活への理解を深めるとともにスキルを習得する。

ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力

・人の健康に携わる職業である薬剤師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの

病院・薬局実習は、薬剤師は患者ならびに生活者に薬を正しく提供するだけでなく、患者ならびに生活者の生命と健康におけるニーズの多様性を考慮した対応（情報提供、態度、コミュニケーションスキル）が要求されることを理解し、それに応えるためには他医療職種の立場と考えを尊重し、連携の重要性を理解する。それらスキル習得を目指す。

アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価

本科目は、和歌山県薬剤師会ならびに病院薬剤師会から推薦された保険調剤薬局ならびに病院において実習を行う。実習では、薬剤師業務の基本的技能やコミュニケーションスキル、態度を実技より客観的に評価する。

授業計画

薬局から病院の連続した 2 期の実務実習となる（1 期は 11 週）。
各期の実習計画，実務実習実施計画書に従う。

教科書

実習書を提供する。

参考書

特に指定しない。

評価時期

ルーブリック（病院実習と薬局実習，それぞれ終了時）

評価方法

ルーブリック（100%）

評価基準

ルーブリック評価 60%以上到達で合格

正当な理由なく欠席・遅刻した場合は実習を中断し，単位を認めないことがある。正当な理由がある欠席・遅刻においても指導薬剤師と協議し，その評価によっては補講を科す場合がある。

担当者の研究室等

研究室 601

オフィスアワー：毎週月曜日 12:40～13:40 17:30～18:30

備考

実習実施要件

- 1) 実習開始の 1 年以内に健康診断を行っていること。
- 2) 薬学共用試験（CBT・OSCE）に合格していること。
- 3) 結核診断テストを行っていること。
- 4) HBs 抗原検査および抗体検査を行い，抗体陰性の場合はワクチン接種を行っていること。
- 5) 4 種（麻疹，水痘，風疹，ムンプス）抗体検査実施，抗体測定値が不明あるいは低値の場合はワクチン接種を行っていること

注) 上記 4) と 5) について医学的理由によりワクチン接種ができない場合は，医師の診断書を提出することによって実習を許可することがある

事前・事後学習課題

実習前オリエンテーション出席ならびに実習機関への事前訪問は必須である。

薬局実習中 4, 9 週目には薬学部において報告会を行う。